

深ふか 沢さわ 直なお 久ひさ



■平成11年8月15日創刊 ■第5号 ■発行/深沢直久後援会 太田市寺井町669番地 ☎(0276)37-0716 ㊟(0276)37-0715

# 視察に行ってきました…………… バーバンク姉妹都市アメリカ

国際交流事業渡米団に参加の目的

- 1 バーバンク姉妹都市交流事業のより一層の発展。
- 2 在留日系人との交流。
- 3 老人ホームの視察。
- 4 大型店舗全盛の生活エリアの中で、地域商店の需要。
- 5 バーバンクのリサイクル施設、ごみ処理施設の見学。

★バーバンク姉妹都市交流事業について  
バーバンク市当局自身は何もしないが、市民はすばらしい品性・感性をもっている。

交流事業の窓口としてのバーバンク市の位置づけは良いと思う。アメリカ



合衆国の中のカリフォルニア州、そのバーバンク市は町の品格、人等の人材は太田の方が負けている。しかし、この町というより人材(子供達の父母、家族)と交流することは大変意義あることになる。その後の子供達の継続的なコミュニケーションの重要性も感じる。その理由としては、街を見ても、デザイン、発想には、世界のデイズニール・ハリウッドの関係者・その頭脳、感性をもっている人たちがこの町の住人であるということだ。

## ★この視察の中で感じた反省点

①太田市は交流事業、特にバーバンク市についてはアメリカというところの感性・習慣の差もあるが、市は大きく関与しながらも、もっと市民の中に根をおろし民間交流の手助けでよいのではないか。ホームステイとの交流ももっと早く起動させ、来る前に二、三回の文通などして、きた時に初めて会うということがあるようにしたい。受け入れる特典、行く特典をもっとはっきりする必要がある。

②プログラムの中に日本の文化と歴史をいれる。とくに近代史と日本人。習慣は、はっきりと日本の考えを言葉にして伝える工夫が必要。戦争ということも避けないで、またアメリカ文化の日本人に対する影響も素直に伝えていくべき。

③子供が対象であるがこの子達を取り巻く父兄ボランティアの人達をも巻き

込んだ啓蒙、意思の伝達が必要。交流事業の英訳本など作り日本文化を考え、気持ちを知ってもらう。

④群馬県人会を設け、日系人の3世4世もメンバーに入れていく必要有り。



## ★群馬県人会との交流

改めて交流の意識確認を相互で確認。今後頼み・頼まれること必要性を見つける。

日系3世4世、県人会の子供・孫・知人等を対象に枠を作りお願いする。バーバンクの子だけでなく日系人もやはりアメリカ人でありアメリカ社会に与える日系人の影響も無視してはならない。

ロータリークラブ等親書を伝達。今後の民間交流に向けて布石する。

太田ロータリークラブもまた姉妹クラブとなっており世代の若返りの中、より良い民間交流機関・バックアップ機関と

なる。太田市と太田ロータリークラブもまたコミュニケーションをとるべき。

★個人主義のアメリカ生活の限界  
大型ショッピングセンター近郊のショッピングストアは残るか。

残らない。個人的には悔しいが残らないとの結論。アメリカは法律でそうなっている。近未来ショッピングモールのよりいっそうの集約したエリア。業種別エリアショッピングモールになるだろう。

アメリカ経済では、古くなったところは、異民族が、個人で買いうけ商売を始める。その民族はそこに集まり経済が成り立つ。売った会社はよりよい所に作りシエアを確保とクリーンなイメージのところに進出する。そこには



アメリカナイズされた個人主義と華僑などの組織主義、民族主義の戦いも見え隠れしている。二百年の勝つことしか知らないアメリカと二千年四千年の歴史のなかで負けることを知ってきた民族の差。生き方の差がある。私個人は民族組織力をもった方が強いと思うが、裕福になった民族が選ぶのは、個人主義なのかもしれない。裕福に日本はなった。今後も裕福でありたいと望む日本人がいる限り個人店は残らない。

★NPO支援センター視察  
5億円の国からの援助!!

人を切り捨てることの出来る支援常識考  
え方が、統一できるか。国からの援助金は、  
使用に市民の理解がないとだめ。  
税金を払っていることを認められた市



▲群馬県人会の皆さんと。1世の方々が多数。



▲Oh! Big Lunch.



▲太田と桐生出身の二人。



▲バーバンク 議会議室



民には、万全の援助が期待できるし成功させたいという意思も見える。それ意外は、道一つ隔てて差別する厳しさがある。これからの日本人にこの厳しさ、差別制度を持って判断実行することが出来るか。しなければ福祉政策の中で、蝕まれる自治体の財政は破綻が表面化してくるであろう。  
交流事業等の中で太田市民も含んだ企業の体験学習・販売啓蒙コーナーが出来ないか。  
物を買うには、それが良いと思わなければ買わない。良いと思うには事前にそれと親しくなっている必要あり。太田の企業にそのような参加型のコーナーがほしい。

今回の海外視察はアメリカという国であったが、この国は二百年の歴史しかなく戦争なども勝つことのみしか知らない前向きに歩く多民族の国である。その中の制度の考え方が出来上がってきた国である。今後はイギリス、ドイツなど、わが国と同じ歴史と単一民族の歴史を有し負けたことのある国、その再生と反省の制度と考え方を早くに見聞きしておきたい。  
(アメリカ視察了)

# 6月議会

## 一般質問

★新野脇屋住宅団地について

Q これからの予定は？

A 3月に基本設計がまとまった。7月に祈願祭をし、工事を始める。現在に自然地形を生かして造成をする。9月には下水処理施設の建設業者がきまる。

Q 今年は菜の花がきれいであったが造成しないところはどのように管理しておくのか？

A 菜の花の景観を考えている。

Q 売り口上が趣味を生かしたアクティビティ(活動)フィールド(場所)で選ぶというが家族は色んな年齢の集まり。無理がないか？

A この売り方は趣味のみではなくいろんな売り方を考えている。お客様に満足に的を絞っていくので、心配ない。

Q 団地のことばかり論じられているがその周りの地区のことは考えられているのか？

A 早急なる面的整備は出来ない。当面生活道路等線の整備に注意を図っていく。

Q 設計施工を清水建設に2億三千万で一括発注。低価格落札の中で、下請けは太田の業者を優先的に使うということだが、公共事業の中には景気活

性の要素も含まれている。地元で出来る物は地元に出し、税金をしっかりと払ってもらうという事はできないのか？

A 確かにそうである。しかしながら発注した額が決まっている。地元だから税金を納めてくれるのだから、儲けさせた方がいい。そういうことについては、私どもの手から放れてしまっただけ出来ない。



Q 土地を買って家を建てるのを企業局は3年としたが、太田市は10年以内にといいことにすれば土地は売れると思うがいかがか？

A 土地を買って3年以内というのが一般的にこら辺の公共用地を住宅にする条件であるが、今の時代で3年が良いか5年が良いか。10年というのは長い。

★鳥山地区土地区画整理事業について

Q 本来北部開発の中心になるはずのところ、どうなっているのか？

A 昭和50年代半ばに始まり平成3年3月には準備委員会が出来た。一時は賛成82%まで支持があつたが、一転反対の声が上がり役員の総辞職になつてしまつた。平成6年、平成8年と見直しを検討したが気運が高まらない。

Q 長い間には相続もあり売れなくて物納まで始まつた。道は狭いし、大雨があると冠水する。何とかならないのか？

A その通りであるがこの3月までに都市計画法53条の建築件数が192件になつた。地域から具体的な提案があれば積極的に支援していく用意はある。

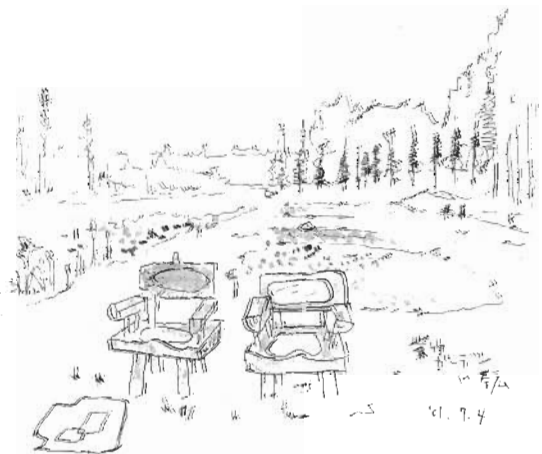
Q ここまで来ると出来るか出来ないかと言ふことになるが、判断はどうか？

A 地域が反対で終わっている。やりたくないというところに、無理やりやろうとは思わない。ただ排水は何とかしようと思つている。その時も地域の皆さんの協力が必要です。

★建設中における生活環境対策

Q 新野脇屋リーベの土取り・北関東自動車道の進行による運搬交通対策はどうなっているのか？

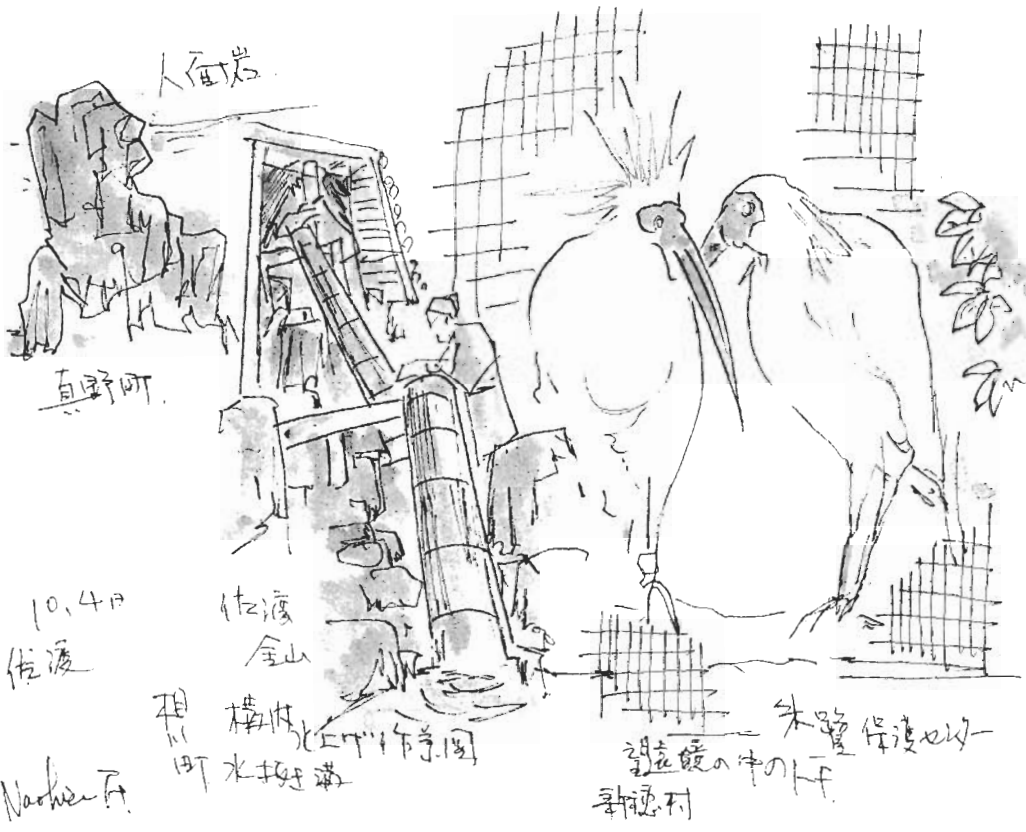
A 新野脇屋へは、今年より1年半か2年かかる。25万立方メートル。大型ダンプ31,250台分。運搬には市道を使う。(8月には県道を使うと報告あり。コースは中強戸より石橋の交差点を左折、太田警察署を右折、新野セブンイレブンを右折、農業改善センターより造成地内へ、そこから今井酒造前を通り、三枚橋の踏切のところを左折、八瀬川の桜並木を通り、一巡と発表通知)



北関東は平成14年から19年を予定している。極力本線内を使う。通学道の所は避け、危険箇所はガードマンを置く。道路壊れた時はすぐ直す。

Q 土運搬に八瀬川に新橋をと要望しているが出来るのか？

出来る。ただし工事専用であり一般車は通さない。



★太田大泉地区の外国人対策について

Q この地区の外国人は帰るのではなく定住化が始まった。今までの認識を改める時が来たと思うがどうか？

A 外国人が地域住民と良好な関係を築きながら生活・共生していけるよう協議したい。

Q 同様のことで川崎や浜松市は外国人と

の共生を選び活動していると聞く。これは行政だけでなく企業財界の責任もある。人材派遣業者の責任は大である。日本人が都合よく外国人を使った付けが出てきた。太田はどうか？

A 外国人は今後ますます増加していくことが予想される。他市の状況施策を研究したい。

## 9月議会

## 一般質問

太田大泉をあわせると日本一になります。であればここより国に発することが必要と思うがいかが？

A 外務省の小島さんという人が各市町を呼んで関係各省の担当者も呼んで、外国人に対する会議を開く場を作ると約束した。これだけでも大きい前進だと思ふ。

★都市と農村の相互関係について

Q 21世紀は環境の時代。森林保護や農業・食糧の自給とその実現が大切な時代になってきた。

太田市はどのようなことを勧めているか？

A 次世代を担う子供達に農業理解、稲作の出前講座。ジャガイモを学校給食にと試験的におこなっている。好評である。

Q 農業の将来は組織が土地を集約し拡大すると見るが農業公社の充実等含めどんな考えか？

A 個人では耕作管理が大変になってくるので、農業生産法人の育成を行い生産から販売までをする組織作りをする。その中の1つの組織として農業振興公社もある。

Q 先進諸国は工業のすぐ隣に農業を位置づけている。教育の中での実体験をしておくことが大事。また家庭での教育

の中で1週間程度農家の主催するレジャー型農業体験場がドイツなどで始まったが、いかが思うか？

A 太田市・県でも教育の中で一週間以内の長期体験活動を進めている。ドイツでの家族一緒にの体験は初めて聞く



が、導入する、しないとは別に出来ればすばらしい。

Q 太田では都市と農村の交流の中で農地利用増進も含め教育的なものと認  
知できる物には積極的に特典や応援  
を与え、流通の中でも太田市のもの  
は太田市で消費するというPRをす  
べきだと思うがどうか？

A そのようなことは前から言ってきた  
いるが、お願いの数が少ないとい  
うより、ない。農家の人があきらめて  
いるのでは。



★外国人の教育問題について

Q 8月23日の新聞に掲載されていたが  
太田市がそのリーダー的な存在と読  
んだ。経過を知りたい。

A 8月17日大泉の教育委員会や国際交  
流と一緒に民間の有識者も含め研究  
会を発足することが合意された。

8月21日ブラジル大使が太田を訪れ  
大使館も可能な支援をしたい。と言  
ってくれた。

10月19日には外国人集住都市会議に  
13都市の首長による公開会議が浜松  
市で行われる。教育、社会保障、外  
国人登録、等テーマに全国に発進し  
ていくものである。

Q 大変重要でかつ早急にやらねばなら  
ないものと思う。ただ今日の経済状  
態の中では無理なくしなければなら  
ない。どのように考えているか？

A 今までお金を稼げば帰ると思ってい  
たが日本に住むことになってしま  
う。そうであれば国も民間もブラジルの  
お金持ちも一緒になってこの子供の  
教育はしなければならぬ。せめて  
義務教育や、日本のルールを教えな  
ければならないと思っている。

★行政改革とその関連について

Q 太田市で目標にして進めている「S

○行政評価・バランスシート。また新  
しく13年度より始まった行政管理公

社は現在どう進めているか。その結  
果と問題点は？

A ISOはサービスの向上を目的に導  
入90001(品質システム)は日々改  
善活動に取り組んでいる。職員の内  
意識改革が進んだが、さらに努力する。  
14001(環境マネージメントシス  
テム)市政を行うにあたっての環境配  
慮を意識したもの。

本年度中の取得を目指している。大  
量消費時代から、循環型社会への転  
換がテーマ推進をする。



行政評価は昨年4月から全課導入。  
市民がどのくらい満足しているか、  
何を目的にサービスをしているの  
か。行政は市民ニーズにどのくらい  
答えているかという評価をしている。  
それを市民に情報公開することで

行政と市民の意識の隔たりをなくす。  
また第3者の評価を導入したい。単  
独評価からいろいろな物との連携評  
価にしたい。

バランスシートは市の経営状態を企  
業会計的に見直すこと。比べる所が  
必要で平成11年に全国15市で始まり、  
12年度のそれぞれを作成発表した。  
太田市は、台帳方式。課題は職員一  
人一人がこの企業感覚を持つことの  
普及。施設一つ一つをやってみる。

行政管理公社は今年新しく出来たも  
の。仕事は、公社職員の給与、福利  
厚生、外郭団体への在籍出向事務、  
そして太田市からの公園運動施設の  
管理、県からのゴルフ場の管理。職  
員の効率的配置には成果が見られた。

Q 行政管理公社で一括作業をするとい  
うことだが、市内を歩いてみると公  
園など管理が間に合わない。剪定な  
どずさん。専門的知識なしと見られ  
るが。地区、ボランティア、職員、  
専門業者と分けたらどうか。予算が  
厳しいのはわかるが太田にも市のプ  
ライドが有つていいと思う、綺麗に  
するということには市民も賛成して  
くれると思うか？

A 今後技術を要する物、緊急な物等に  
ついては、専門業者に委託すること  
も視野に入れながら職員の技術の向  
上を図る。  
(議会質問 了)

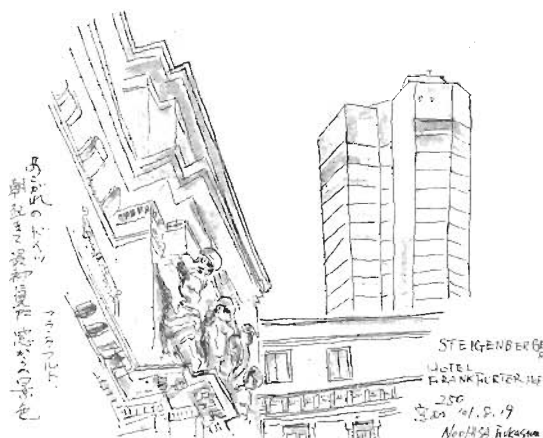
# ドイツ日記

八月一日より二六日まで念願であったドイツに行ってきました。同僚の鈴木議員と二人旅。彼とはアメリカ視察の時に今度チャンスがあったらドイツに行こう、今、環境問題ではドイツを見ておくべき、と意気投合していた。行きたいと本気で思っているとチャンスが出てくるというのは本当です。私の場合そこに必ずいい人が登場してくれる。これは生まれ持った物と神様に感謝します。今回は友人の娘さんでフライブルグに住むピアニストの岡部亜希子さんと奥さんがPTAで一緒だったフランクフルトに住む三洋電機の小野洋さんです。今もお二人はドイツですが、何度でも感謝の意をお伝えしたい。

## ●第一日(二八日:土曜日)

八月一日、五:〇〇起床。六:〇〇の成田行きのバスに乗る。一〇:三〇チェックイン完了。一三:三〇出発。同日一八:二八ドイツ、フランクフルト空港到着。文字に書くとは、たったの五時間かと思われようが時差と言う物が七時間あるので一二時間飛行機に乗ったことになる。旅行は慣れているつもりだが、いつも不安に思うことがある。知らないところで駅からホテルまでの間。ホテルに着いてしまえば私の場合、あとは何とでもなると思えるのだが、これは癖である。いつもタクシーに乗ってしまえばいいと言われるが、アメリカで二〇年前にそれをやって違うところに降ろされたのが、どこか心に残っているらしい。

キドキした。小野さんに出迎えていただいた。顔も一度くらいしか見たことがない方だが、会った瞬間、なにか懐かしささえ覚えた。小野さんにはフランクフルトのホテルをどこか二泊取っていただきたいと頼んだ。



後で分かったのだが泊まったホテルは旅行社でもあまり取れない由緒あるところでも安くとっていただいた。ホテルに着いて初めての体験。部屋に案内されてドアを開けたら天井からボタボタと水が落ちていた。「雨が降っている」と笑ったら部屋を変えてくれた。

その晩は小野さんにカフェでおごってもらった。私も、鈴木もこれは小野さんが日本にこられたら二人でおごらねばならんと心に決めました。二一:〇〇でまだ空は夕焼け。夏のドイツは日が長い。二三:三〇にホテルに帰る。一日が三〇時間そのうち二六時間に起きていた。長い長い一日だった。

## ●第二日(二九日:日曜日)

今日は日曜日フランクフルトを探検。土曜日曜は店が閉まってしまおうと聞いていたが本当に八〇%は閉まっていて。それでも駅や歩いていると開いているカフェがあったので食べるには困らなかつた。問題はメニューを見て解らないこと。これはドイツにいるいっばい悩ませられた。フランクフルトの街は古さと新しさが混然となりそれでいて違和感がない。地下鉄は、何かしら要所をつなぐ地下トンネルのように思えるのは考えすぎか。

## ●第三日(二〇日:月曜日)

フランクフルトからドイツ南部のフライブルグに列車にて移動。その窓外には赤松の平地林。そして突然フライングガルトン(三三農場)が目飛び込んできた。「あつ、これだ。これだ。」と叫んで一生懸命思い出シスケッチをした。描き終わった辺りから、珍しくないほどどんどんで来た。

フライブルグに着いて街を見たとき「よくぞ、亜希子さんはここに住んでいてくれた。」「良くこんな街が今までここに有るな」と思った。皆さんにもお勧め。一度は夏のここに訪ねてください。また食べる話になるがレストランに入ってメニューが解らないのでガイドブックの写真を見せた。ウェイトレスが笑っている。どうしてかと聞くと「こんな料理はドイツにはない」ときっぱり、本の知識もいに加減である。

## ●第四日(二一日:火曜日)

今回、旅の最大の目的、環境問題視察、亜希子さんの知り合いでツアーコンダクター業を始めた人と会う。「ゴミ処理施設に行く、ゴミ処理は有料、分別は知恵。リサイクル



フランクフルトで宿泊したホテル。



ここのウイナーソーセージは人の列が長い。

朝市風景。野菜はここでほとんど間に合う。



をすれば「三」は財産、どう言う事かという  
と、「三」は①捨てることでお金をもらっ、②  
分別・整理が仕事、③そして原材料として何  
度でも売る。民間経営で働いている人も明  
るい。生「三」処理施設はガス発電所。そし  
て堆肥にする。ドイツは原子力発電はもう  
しないと決めた。国民一人一人が國に対し  
て何をしてあげるかの一つで一〇〇〇kw/  
年で協力する。そしてどうして日本はいい  
会社があるのにやらないのだと言われたソ  
ーラー発電、耳に残りました。



●第五日(二三日:水曜日)

目的第二、農家を見に行きました。一週間  
の家族体験施設、および糞尿発電施設。全  
世界から視察が来ている。そしてそれを仕  
切る元気な母ちゃんに会いました。森を見  
に行きました、シュバルツバルと(ドイツの  
黒い森)ドイツ人の誇り。国を含め三つの  
組織で守っている。その森も使っている。  
なんと多くのお年寄りのご夫婦が山の中を  
歩いていることが、子供の教育とお年寄り

の健康のために森があるようだ。

●第六日(二三日:月曜日)

この日はフライブルグロータリークラブ訪問。  
実はピアニスト岡部亜希子さんは太田ロー  
タリーの奨学生で二年間の留学生であった。  
それが今は六年目となりヨーロッパを中心  
に活動するようになってきている。そうゆ  
う経歴の持ち主。その受入先がここフライ  
ブルグロータリーであった。そのお礼のス  
ピーチをドイツ語でやることに決めていま  
した。「やりました。」評価は、「何とか聞け  
たよ」との事、皆英語は解る人達であるがそ  
こはまた自分の国の言葉を喋ってくれるこ  
とは気分が良い事だと思えます。ここでは  
偶然にも四国の松山大学に留学していたと  
言うヘルダー氏に会う「春田と呼んでくだ  
さい」と言われ理由を聞いてみるとヘルダ  
ーは「減るだ」で日本の意味は良くないと誰  
かに言われたらしい。とんでもない親日家  
であり、今ドイツでも新進気鋭の老舗本屋  
の六代目社長らしい。ここでも夕食をおこ  
つてもらいました。「ドイツに来たらドイツ  
人がおこる。日本に行ったらおこつてくれ」  
ということ、承知した。とまた心に決めた  
深澤と鈴木であった。

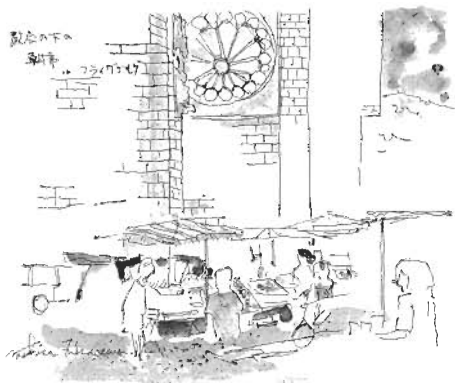
●第七日(二四日:金曜日)

この旅初めてのフリーデー、何の予定もな  
い日です。ところが私たちは作ってしまった  
のです、ここはドイツの南の所。三〇分  
電車に乗ればスイス、三〇分バスに乗れば  
フランスという所、どちらかに行こうとい  
こうとにしています。春田氏に相談して  
みるとここまで来たのだからチィチィゼに  
行きなさい。黒い森の中の天国と言う駅の  
次です。ここはドイツ人の避暑地でした。

本当に森と湖が好きなドイツ人です。  
今晚がドイツ最後の晩夜、二時までカフ  
エで三人よく喋りました。明日は亜希子さ  
んもバケーションでイタリアに朝早く出掛  
けるそうです、さようなら。

●第八日(二五日:土曜日)

今日は日本に帰る日です。最後に朝市で大き  
いソーセージパンを食べた。今までレストラ  
ンで食べた物よりうまい。まだまだ見た所は  
ごく一部の様でもっと居たい思う。私は「日  
本をこの様にするならば自分がここに来て住  
めばよい」と思った。ここに留学している日  
本人にあって、そう言ったら「そんなことは  
ない。なぜなら私がこつちに来て勉強してい  
るから」とそう言われた。視察ガイドのお兄  
さん「一五年前はこもそんな所だった」と  
言った。まだまだ捨てたものではない。あ  
きらめず一つ一つからだて改めて思う。イー  
旅をした。二五日、二〇:三〇発これで日本  
に帰ります。帰ると八月二六日、一四:三〇  
分成田空港です。(ドイツ日記)



街角のカフェで、  
時の経つのも忘れ語り合う。  
カメラマンの位置には  
路面電車が走っています。



次世代のエネルギー、ソーラーシステム。  
一人(5平方メートル分)30万円投資する。  
1日40円づつ戻ってくる。  
ここはサッカー場の屋根の上。



元気で明るい従業員。  
カメラを向けたらハイッ!ポーズ。

# 草然徒

この四月からは、いろいろな事がありました。所属会派は変わらず清和クラブです。今年度の委員会は、産業環境委員会と

合併調査特別委員会に所属になり合併調査特別では副委員長を仰せつかりました。

皆さんはなかなかその委員会が分からないと思いますが四委員会あります。総務企画・厚生文教・都市建設そして産業環境です。

産業環境とは経済関係で農業政策・農村整備・商業観光・工業政策。環境関係で環境政策・清掃事業・下水道推進・衛生事業・等を審議します。合併特別とはその名の通り市町

村の合併に関して特別に議員を招集して議論を重ね、方向性等含め議論・過程を議長および太田市の皆様に公表するところ。

四月からの主な活動

■4月―議員海外視察（アメリカ）。

■5月―議長交代。

■6月―6月議会。

■7月―会派視察（北海道）。

参議院選挙。

■8月―個人視察（ドイツ）。

■9月―9月議会。

■10月―委員会視察。

長野県（佐久市・長野市）  
新潟県・佐渡  
（真野町・両津市）

というようなスケジュールでした。

## 植木屋さんの知恵袋！

今回は2つとおきの技をお教えます。

### 【ナメクジ退治】

ナメクジには塩がいいと言われる方もいると思うが、ビールが良いんです。残ったビールをどんぶりに入れて、退治したいところの床に置くだけで、貴方は気持ち悪いほどビールの中でおぼれているナメクジを見ることになるでしょう。

### 【心食い虫退治】

よく樹の中や皮を食われていることがあります。こんなときはスミチオン乳剤を10倍から20倍くらいにして、根本から10cmくらいのところに10cm×20cm巾で塗ってください。随分と予防になりますし、中にいるのが確認できたら注射器で中に液を入れますと退治できます。

# 掲示板

## 『議長交代』

この人事の影響で、9人の『清和クラブ』と7人の『新生クラブ』に分かれてしまいました。

## 『清和クラブ』

長谷井・上村・川岸・佐藤・武藤・斎藤・荻原・鈴木・深澤という構成議員となりました。

## 『ゴルフコンペ』

五月にゴルフコンペを行いました。雨の日にも関わらず多数の参加をいただきありがとうございました。

## 『バスツアー』

十一月にはバスツアーを企画しています。

## 『地区懇談会』

地区懇談会を開きたいと議員から希望がでています。支部長さんよろしく願います。